

いつもありがとうございます。

W12 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・名水にら再開についてのお詫び

先週、名水にらの再開について言葉足らずだったようで申し訳ございません。

非常に沢山のご注文を頂きましたが、産地自体まだ刈り捨ての段階で通常通りの収穫量には達していません。

森農園では、通常 6 ヶ月～8 ヶ月間程度の作のところ、弊社の依頼によって 12 ヶ月収穫してもらう作型になっています。

通常というか、他産地では、1 ヶ月間程度で正規品程度に成長させ、その作も出荷します。

でも、森農園では 12 ヶ月収穫する為に、そのため、よりしっかりした株の養生をします。

人間と同じで、背丈が先に伸びてその後に中身が出来てきます。

それ故、ひと月ほどで背丈が正規品程度に伸びても、最初の刈り取りはしません。

もうひと月圃場において、にらの葉ではなく茎を太く成長させ、根も張らせています。

現在の状況が、この一回目(刈り捨て)の刈り取りにあたります。

4 月中旬頃に、二回目の刈り取りが始まり、この頃になると通常通りの収穫量になります。

もうしばらく、数量不足による欠品が多発しますが、ご容赦のほど宜しくお願い申し上げます。

・沖縄県産 ほっとけ栗たん



あまりに高いですが、相場的にはこの価格です。でも、取り扱わないわけには参りませんので、

品揃えとして扱っています。

それで、そらそだよね〜と運送費分だけ乗せさせていただき、価格を抑えてご提供する事にしました。

この時期の南瓜は、台湾での作付け、北海道産の冷凍南瓜、

このふたつの策で乗り切るしかないようです。

そうでなければ、現状のニュージーランド産現地 ORGANIC 南瓜しか手がありません。

・島嶼部六島産 新玉ねぎ

予想通りの苦戦をしています。

でも、どうしてもこの時期はこの地域の新たまねぎが必要です。

W15 からは、熊本県産特裁デリシャス新玉ねぎとデリシャス赤玉ねぎも始まります。

九州地域も、今年は遅れています。

・鹿児島県産 中島さんの栽培期間中農薬化学肥料不使用のブロッコリー



花芽はもちろん、茎まで美味しいブロッコリーです。

私は中島さん、彼を応援しています。

単身でドイツに渡り、

有機農業を学んできた行動力を、評価してのことです。

有機農業は、暮らしの価値観の話です。

価格についての考え方も、

製品化についての考え方も、

この価値観から生まれ、ひとから賛同を受けることが第一義だと思っています。

ひとが選ぶ道はいっぱいあり、それぞれが正しいとすればその選択に価値が出そうです。

・高知県産 青山さんの特裁文旦

高知県産 青山さんの 農薬化学肥料不使用の
文旦 の 糖度測定

■測定日 : 2018/3/6 500g

文旦
糖度12.1度



		測定日	糖度
高知県	青山さん文旦	2018/3/6	12.1
熊本県	吉田さん不知火	2018/1/30	14.7
熊本県	吉田さんはるか	2018/1/30	14.3
熊本県	吉田さん スイートスプリング	2018/1/30	12
ニュージーランド	ネーブルオレンジ	2016/9/5	13.0
愛媛県	瀬戸のマドンナ	2015/12/10	13.8
鹿児島県	グレープフルーツ	2015/7/9	12

有限会社アルファ
栽培管理部

そんなに甘いものでもないし、ジューシーな訳でもない。

でも、美味しい。

生産者の青山氏は、建築や店舗・レストランデザインの出版をしておられて、

イタリア・スペイン・ドイツ等々、ヨーロッパ各地を回って、

デザイン性に富んだ建物の紹介をする為に、五カ国語を話すそう

です。

文旦と小夏は、土佐の名産で、

どうせ農業をするなら土佐の名産をと考えるのは、

この方の生き様を聞いていれば、すごく納得が이었습니다。

同じ、土佐の文旦でも味が違います。

言ってみれば別世界の味で、それは栽培も文旦の持つ美味しさの、

引き出し方にあるのかもしれない。

4月の半ばになれば、小夏が出てきます。

これも、有機と転換期間中の特別栽培の2種類があります。

このふたつのかんきつ類の農家さんをずっと探していましたが、

待てば海路の日よりありと申しますが、

ボチボチで良いので、長くお付き合いできればいいなと思っています。

・鹿児島県産 ORGANIC 葉にんにく



綺麗な圃場です。

昨年、意外とと言えば失

礼かもしれませんが、

皆さんによく利用していただ

けました。

美味しいんですね。

ちょっとした香り付けにもなるのでしょうか。

確か、我が家ではパスタに良く合った記憶があります。

さんざん苦労したこの冬の葉物も、

ようやく、此処に来て出揃ってきました。

出揃えば、相場が下落するという哀しい、野菜の宿命です。

それでは、今週も御注文のほど、宜しくお願い申し上げます。

有限会社アルファー

吉田清一郎